

先週、3月25日にハンプルクを発ち、26日に無事大阪に到着しました。

ドイツに戻ったときもそうでしたが、日本に来て、やはり時差ボケの影響で、何時に寝ても朝の5時に目覚めます。ふだん朝に弱い私は、こちらでは早起きをエンジョイしています。

ところで、ドイツでは出発前の受難週を、主のみ苦しみと十字架の足跡を共に歩ませていただくことによって、イエス様の愛の深みに触れさせていただき、実に感謝なひとときを過ごすことができました。そして、日本へやってきてさまざまな事件や暗いニュースを聞くにつけ、今、ローマ書8章17節を思わされているところです。

私たちがキリストと、栄光をともに受けるために苦難をともにしているなら、私たちは神の相続人であり、キリストとの共同相続人であります。

苦しみにあったとき、私たちは苦難を避けようとし、けれども、苦難は、まだ信仰を持っていない方々にとっては、神の救いを見出し永遠のいのちを得るために神が差し伸べてくださった恵みであり、信仰者にとっては神の相続人となるための必須条件です。苦難を通して、さらに私たちが神に似たものとされ聖化されてゆくのなら、この苦難を避ける者ではなく、キリストとともに受ける者とさせていただきたいと、祈り求めている毎日です。



## ●中国語

4月13日の杭州の教会、崇一堂でのコンサートに向けて、中国語での賛美に奮闘しています。(崇一堂、77メートルの塔に架けられた十字架)

2年前、中国で賛美させていただくために、中国語の賛美を2曲用意したのですが、その頃は、全く新しい言語とその発音に、しばらく頭が混乱しました。

その時は、何人かの中国の方に発音を教えてもらったのですが、人によって発音がかなり違いました。しかもひとりの人に同じ箇所を繰り返し読んでもらおうと、一回目と2回目が違って聞こえてくることもあるのです。中国語には、それぞれの読み方を知るための、拼音(ピンイン)と呼ばれるアルファベット表記があるので、それを漢字の下に書いてもらうのですが、残念ながら、そのままローマ字読みをしても正確な発音にはなりません。

私は、これまで16ヶ国余りの言語で歌ってきました。それで、中国語の発音が、今まで学んだ発音に共通したものがあるのではないかと、頭の中にある発音プログラムを検索してみたのですが、なかなか見つかりません。そのうち私の脳はパニック状態になって、ひどい頭痛に襲われました。それでもやっているうちに、「なんとなくこうかな」というところに落ち着くのですが、次に中国人の方に発音を見てもらうと、また訂正される、という繰り返しでした。

ところが、昨年伴奏してくれた韓国系アメリカ人のフィリップさんに韓国語の発音を教えてもらったとき、突然見えてくるものがありました。それは、舌の使い方でした。ヨーロッパの言語は、口の開け方、くちびるの使い方に発音のコツがありますが、アジアの言語の秘訣は、どうやら舌にあるようです。中国語では、舌の両端を上歯につける発音、その上で、英語のRのように、舌を上にする発音、舌先をしっかりと上の歯の裏側に、あるいは、舌を丸めて下の歯につけ、両側は、上につけるとうまく発音できるものなどがあります。

今、やっと中国語の美しさが分かってきたところです。会話はまだほとんどできませんが、最近、中国語賛美のことばの深みとその美しさを少しずつエンジョイし、中国語賛美の素晴らしさに感動するようになってきました。

ところで、私はこれまでいろいろなことばで賛美させていただくことによって、すべての言語は神によって与えられたものであることを意識するようになりました。私たちが神のご栄光を反映するものとして造られたように、それぞれの言語も、神をほめたたえ、感謝し、神のみこころを伝え、お互いに理解し合い、交わるために与えてくださったことを覚えるのです。どのことばも、神をほめたたえるとき、最も美しく響きます。

御国に迎え入れられたとき、私たちは、朽ちない完全なからだに変えられます。でも、それぞれの言語は残ります。天上のことばも理解しながら、私たちは、地上で学んだことばをもって神をほめたたえ続けることになるのだと思います。中国語の賛美を歌いながら、今、天の諸国民の賛美大合唱を夢見ているところです。

「その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大ぜいの群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手に持って、御座と小羊との前に立っていた。彼らは、大声で叫んで言った。「救いは、御座にある私たちの神にあり、小羊にある。」

(黙示録 7：9-10)



## ●お祈りください

★4月6日の小金井教会のコンサートに関しては、私個人にも、多くの方々が来てくださるとの連絡を受けています。どうか私が、主のみ前にひれ伏し、心からの賛美を捧げることができるよう、そして、主がご自身のご栄光を現わしてくださる時となりますよう、お祈りください。

★中国、杭州の崇一堂（教会）は、7000人収容の、中国で一番大きな教会堂です。教会では、主が会堂を人々に溢れさせてくださり、伝道のチャンスとしてくださることを切望しながら、篤い祈りを捧げています。皆さまも、どうぞ篤い祈りをもって、お支えください。

福音は、ユダヤ人をはじめギリシヤ人にも、信じるすべての人にとって、救いを得させる神の力です。  
（ローマ 1:16）

★また、春の予定は以下の通りですので、お近くの方は、知人・友人をお誘いのうえお越しください。また、お知り合いの方々にも宣伝していただけますなら、幸いです。

4月 6日（日） 東京フリー・メソジスト小金井教会 賛美コンサート  
4月10日～15日 中国（13日杭州教会での賛美、午後2時）

ゴールデンウィーク中 レコーディング

5月11日（日） 堺栄光教会 賛美コンサート  
5月15日（木） 北本福音キリスト教会 婦人会伝道コンサート  
5月17日（土） 「愛と希望と平和をあなたに」コンサート(VIP 埼玉)  
5月25日（日） インマヌエル聖宣神学院 チャペルコンサート  
6月 2日（月） 札幌ザ・ルーテルホール・ジョイント・リサイタル

\*それぞれのコンサートの詳細、お問い合わせ先等は、ホームページのスケジュールをご覧ください。  
<http://atsukokudomm.com/html/schedule.html>

---

インマヌエルであられる神のご愛と恵みが、皆さまと共にありますように！

工藤篤子